年間授業計画　新様式例

高等学校 令和５年度（１学年用） 教科 芸術　　工芸Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　工芸Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　１組～　６組

教科担当者：（1・2組：　）　（3・4組：　）　（5・6組：　）　（　組：　）（　組：　）（　組：　）

使用教科書：（『工芸Ⅰ』日本文教出版　　）

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】工芸の特質について理解するとともに，意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり，工芸のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むと共に豊かな生活や社会を創造していく態度を養い，豊かな情操を培う。

科目　工芸Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに，意図に応じて制作方法を創意工夫し，創造的に表すことができるようにする。	造形的な良さや美しさ，表現の意図と創意工夫，工芸の働きなどについて考え，思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり，価値意識をもって工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組み，生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，工芸の伝統と文化に親しみ，生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 身	表現 社	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・オリエンテーション ・教科書から好きな作品を見つけて記入し、模写をする。	●オリエンテーション　●教科書の作品鑑賞 ●工芸と生活の関わりについて考える。			○	【観点】知識・技能　思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度 【方法】授業における取り組みや欠席状況および提出された作品・プリントにより総合的に判断する	○	○	○	2
	・ペーパーナイフ・かんざし制作（べっ甲調アセトロイドを使用） 【知識及び技能】 ・意図に応じて制作方法を創意工夫し，創造的に表すことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・表現の意図と創意工夫、ペーパーナイフ・かんざしの働きなどについて考え，使い手の気持ちを考えた上で、心豊かに発想、構想できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に制作に取り組み，生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養う。べっ甲細工などを鑑賞し、伝統工芸品、手仕事の良さに興味関心を持つ。	●伝統工芸べっ甲細工について ●ペーパーナイフ・かんざしについて　●電鋸・やすりの使い方、素材について　●使う人や実際に使用する場面、求められる機能や条件等を考え発想する。	○		○	【観点】 知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度 【方法】 授業における取り組みや欠席状況および提出された作品・プリントにより総合的に判断する	○	○	○	14
	ガラス工芸（サンドブラスト）グラス・皿 【知識及び技能】 ・意図に応じて制作方法を創意工夫し，創造的に表すことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・表現の意図と創意工夫，グラスの働きなどについて考え，使い手の気持ちを考えたうえで、心豊かに発想し構想できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的にガラス工芸の幅広い創造活動に取り組み，生涯にわたりガラス工芸を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，ガラス工芸の伝統と文化に親しみ，生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養う。	●用具・材料について ●ガラス工芸について ●サンドブラストについて		○	○	【観点】 知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度 【方法】 授業における取り組みや欠席状況および提出された作品・プリントにより総合的に判断する	○	○	○	6
2学期	木工芸　木彫箱　（漆、螺鈿装飾） 【知識及び技能】 ・意図に応じて制作方法を創意工夫し，創造的に表すことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・表現の意図と創意工夫，箱の働きなどについて考え，使い手の気持ちを考えたうえで、心豊かに発想し構想できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に木工芸の幅広い創造活動に取り組み，生涯にわたり木工芸を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，木工芸の伝統と文化に親しみ，生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養う。	●木工芸について ●彫刻刀の使い方について ●漆、螺鈿について	○		○	【観点】 知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度 【方法】 授業における取り組みや欠席状況および提出された作品・プリントにより総合的に判断する	○	○	○	32
3学期	籐工芸　コースター、籠制作 【知識及び技能】 ・意図に応じて制作方法を創意工夫し，創造的に表すことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・表現の意図と創意工夫，籠の働きなどについて考え，使い手の気持ちを考えたうえで、心豊かに発想し構想できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に籐工芸の幅広い創造活動に取り組み，生涯にわたり籐工芸を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，籐工芸の伝統と文化に親しみ，生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養う。	●用具・材料について ●籐工芸について ●コースター、籠について	○		○	【観点】 知識・技能 思考力・判断力・表現力 主体的に学習に取り組む態度 【方法】 授業における取り組みや欠席状況および提出された作品・プリントにより総合的に判断する	○	○	○	16 合計 70